新京日日新聞
夕刊
四月十二日(木)
定價 一ヶ月一圓 郵税 …
發行所 新京日日新聞社 電話 ……三三〇〇番
主筆 …　發行人 十河 …　編輯人 …　印刷人 松谷 …

滿銀の買收により ハルビン銀行恢復 十萬圓で調印なる

滿洲銀行に於るハルビン銀行買收問題も去月三十日の株主總會に於て價格十萬圓を以て買收を承認を得ハルビン地段街の本店及、奉吉線山城鎭並に南滿本線海城の各支店は四月二日より滿洲銀行支店として業務開始した從來不當貸出、資金薄等兎角の評ありし同行も滿銀支店として信用恢復した譯である因にハルビン支店長には梶浦滋氏、山城鎭は撫順御城に鞍山の各支店長當分兼任の筈である

として許可した　周易甫、李景蓮、趙光宋、冷文富、張雲亭、引地寅次郎、中根齋

四月上旬中の 京圖線木材輸送 頓に好成績を加ふ

最近に於ける京圖線方面の木材出廻りは未曾有の盛況を示し新京鐵路局管内の木材輸送量はめざましき躍進を爲しつつあり、四月十日の如きは一日二千六十一キロトン九十車を發送し同鐵路開始以來の記錄を示した今月上旬中京圖線木材輸送量は

一日　千二百四十トン
二日　九百五十二トン
三日　四百八十五トン
四日　千四十トン
五日　千三百五十三トン
六日　千七百〇八トン
七日　千五百十六トン
八日　千八百三十八トン
九日　千六百九十五トン
十日　二千〇六十一トン
計　一萬三千九百五十二噸

これを前旬中の成績に比べると一日平均十三%の増加となつてゐる、發送狀況はかの如き成績にあるを以て新京驛に殺到する國都建設用木材に於ても四月上旬間に七千七百九十一噸三百九十車の大量に上り、前旬に比すると約六十%三千キロ噸の増加で之がため新京驛木材卸場は材木洪水の觀を呈しその荷捌きに各關係當局も大童の態である同新京鐵路局は來る十五日から又々輸送力を増大し毎日百車二千三百キロトン積出しをめざし大躍進を期してゐるがこれがために關東軍交通監督部鐵路總局の助力殊に滿鐵からは機關車の融通その他多大の助力を

失業鮮人救濟のため 綏化に東亞勸業農場を開設

〔チチハル國通〕過般來當地領事館の懸案となつてゐた失業鮮人救濟のため綏化に東亞勸業公司の手で一千三百町歩の一大農場を開設し六百戸からの失業鮮人を收容、正業に就かしむべく着々準備中のところ農場を買收し愈よ五月より耕作し得らに至つたので今月中旬までにチチハル、克山、北安鎭、海倫、ジヤラントン、ハルビン等各都市に於て失業鮮人を募集中であるが成績良好の模樣である

黑河附近の 砂金熱旺盛 中でも瑷琿、呼瑪は有望

〔チチハル國通〕黑河領事館分署の報によれば黑龍江沿岸地方に於ける採金作業は旺んなるところは佛山、愛琿、呼瑪漠河の四ヶ所であるが、その中でも愛琿、呼瑪兩縣は最も有望であり、その主な金廠に於ける大同二年度の調査によれば一月平均二萬五千瓦の多量の産額を算て居り黑河には現在砂金收買人二十一軒を算へ大同二年度に於ける砂金の買收數量は一月平均三萬三千瓦に上り之等は總て原金として船舶または航空輸送によりハルビン、チチハル方面に積出されてゐる、因に主な金廠の一年に於ける産額を擧ければ

興安金廠　十七萬三千瓦
繼源金廠　十萬瓦
源利金廠　三萬五千瓦
裕利金廠　二萬七千瓦

の如し

商標手續 代理人任命

滿洲國實業部商標局では十一日左記七名を商標手續代理人

日滿經濟ブロック 結成基礎資料(三) 米穀資源について(上)

資源價値

資源要項

現在生産額(昭和六年)(滿洲産業統計による)
水稻籾　百六十五萬石
陸稻籾　百八十六萬石

作付面積
水稻　八萬一千八百町歩(六年)
陸稻　十一萬八千九百町歩(同)

反當收量
水稻籾　一石九斗
陸稻籾　一石四斗四升

(昭和二年より六年に至る五ヶ年平均)
輸出かなし(現在日本より二萬石位の輸入あり)
近き將來作付面積を六十萬町歩(現在の三倍)に收量籾千五百萬石(現在の四倍)に増加するの見込

本資源の利點及缺點

利用スベキ諸點

一、南部滿洲の氣候及土質は米作に適し且良米品質も概して良好なれば米作は農作物中將來最も有望視せらる
二、滿洲は氣候乾燥せるを以て籾の貯藏に適し内地の如く蟲害、米質變化等の憂なし
三、水稻は將來急速に發展の見込あり殊に品種の改善により尚多收穫を得べし、例へば内地東北地方の早生種大野、龜の尾は在來種に比し籾にて一割乃至三割の増收を期し得べし
四、陸稻改良種は原種に比し多きは四割の増收可能なり

留意スベキ諸點

一、北滿は日照時間短きが故に稻作に適せず縱つて收穫大ならず品質亦不良なり
二、滿洲國の米作は灌漑排水防水等土地改良に多額の資金を要する不利あり

我國策上より見たる利點及缺點

利用スベキ諸點

一、米作は邦人の最も親しみ易き農作物なれば農業移民を奬勵する以上自家用程度の米作は不可缺の要件なり
二、本邦人の米作は自己の主食料を得るのみならず他農作物に比し收益多き利益あり
三、朝鮮人の滿洲進出を奬勵することは朝鮮農家の疲弊を救ひ又内地渡來者を減じ我勞働者への壓迫を輕減する結果となるべし
四、滿洲に於ける米作の發展は農業器具機械の使用を増加し我製造者及販賣者を利することとなるべし

留意スベキ諸點

一、現在日本農家は米作の豐穰、農産物價の低落、農鮮米の移入増加により一千九百萬石内外の持越米を有し將來農業技術の進歩と共に益々米穀の過剩を免れず、然るに滿洲國に於て米作を奬勵すれば益々米穀の許産過剩となり爲一滿洲米の輸入を見るに至らば我農業の根抵を搖がすに至るべし
二、滿洲國に於て産米の自給自足を見る場合には朝鮮米及日本米の滿洲國輸出は不可能となるべし

ル大統領並に 頭腦トラスト 米國の赤化革命を企圖 ワ博士怪文書發表

〔ワシントン十日發國通〕有名なインディアナ州の教育家ウキリアム、ワット博士は最近ルーズヴェルト政權の

『中核』

を形成する所謂ブレーントラスト一味が米國の赤化革命を企劃しル大統領を單なるケレンスキー的な役割の過渡的人物として究極に於ける共産革命の陰謀を着々進めその爲め故意に現在の經濟不況を實現させて居るとの怪文書を作成これを發表した爲め米國内に非常なセンセイションを惹起し遂にこれが調査委員會の提出を見るに至つた、調査委員會が可決された結果十日ワット博士は下院に出頭證言しブレーントラストの中心人物の一人と目されて居る農務次官補タグエル氏を槍玉に上げ左の如く述べたタグエル氏は政府に關係を有する旦夫人に對し計畫を全國的に實行するには憲法法規を變更せねばならぬと言つたことを確聞して居る

尚下院委員會はワット博士の證言を聽取するに當りその範圍を博士の所謂革命陰謀なるものと出所を列擧するに限定し政府の政策に關する論議を許さぬ方針を執つて來た爲めワット博士は政府に關係ある晩餐會に

『出席』

した人々の名を擧けたがこれ等の出席者は孰れもワット博士の引用した言葉を語つた覺えなしと否定するか乃至は不回の態度を執つて居る

ローマ小麥委員會 價格値上を要望 コミユニケ發表

〔ローマ九日發國通〕五日以來當地に開催中の十五ヶ國國際小麥委員會は九日小麥の最低價格を審議し、同時に專門家小委員會の提案になる私案數個の審議を行つたが會議終了後左の如きコミユニケが發表された

現在支那に於て小麥の價格が米價に比し著しく低下せる事實に鑑み、世界の小麥價格が相當高騰するとも極東に於ける小麥需要はさまで減退するに至らないであらう

本委員會は本日ロンドン小麥協定の效果に關する檢討を終つたが、世界小麥價格は同協定締結當時に比し著しく下落して居り、吾人を失望せしむるものがある、製粉業者の小麥買付價格が世界輸出價格水準と同等若くはそれ以上である國は一部少數諸國のみに限られて居る、而して世界小麥産額の四分三以上は輸出點を遙かに越す高價で消費されてゐるものと見られるから、輸出小麥價格は若干高騰するとも小麥の需要を減少せしめる事は殆んどないものと觀られる

日滿悲曲 生命線を行く(百四十)

(上海上映) 國友雄吉 (荒川芳三郎畫)

な騷ぎで、實に、醜態百出でした――だから、我々が、いくら骨を折つてみた處で、伸一君は、所詮、翠君を持つ氣づかひはありませんよ。それよりは、どうです、いつそ、あの醜者の身受をして、氏家の令夫人に直しては――? はゝゝゝ」

「マア、何をおつしやる――、いやなことです!」

夫人は身ぶるひするほど腹が立つて來た。彼女は、汚ない物でも吐き出す時のやうに、顏をしかめるのであつた。

斯くして邦彥は、彼自身の醜聞をそのまゝ、更らに、千瀨子夫人の心にも、醜聞の種を蒔きつけたのである。

無論それは、彼の、嫉妬の腹癒せでもあつた。

昨夜、同じ金水に邦彥が來て居つて、それが勝代を待つてゐたのであることなど、夢にも知らない伸一は、なにもかもが、すべて不思議でならなかつた。

嫉妬の腹癒せ

伸一と勝代のことが千瀨子夫人に知れたのは、勿論、邦彥の密告に依るものであつた。

邦彥は銀行へ出勤の途中、態々廻り道をして夫人を訪問した。

「伸一君は――?」

彼は、例の陰險らしい眼をして小聲できいた。

「あちらに居ます」と夫人は答へる。

「昨夜、歸りが遲かつたでせう――何時頃に、歸りましたかね」

「伸一ですか――さうですね、彼是一時すぎでせう。あんなに遲くなるなんて、彼の子にしては珍らしいことですわ。それを、あなたも御存知ですの?」

「知つてゐますとも。昨夜は、エライところを見せられましてね。――」

邦彥は、ニヤ／＼笑ひながら言つた。そして、擽動するやうな眼光が、だん／＼輝いて來た。

「なにを、御覽なすつて?」

「それはねえお母さん、いくら伸一君に、藝者を勸めたつて、駄目だといふ理由を發見しました。――伸一君は、やはりなか／＼お盛んだ。隅には置けませんよ」

又しても彼は、ニヤリと笑ふのであつた。しかしその笑ひには、意地惡しい嘲りが含まれて居た。

夫人の瞳は、たちまち不安に襲はれるのであつた。

「ヒヨツトして、赤子が來たのは異ひますか?」

「どうしまして、赤子ではありません、全然別の女ですよ。昔町藝者で、當時の勝代といつてね、その女が、滿洲で、伸一君に愛されて居たんです。それが、遙々伸一君の跡を慕つて日本へやつて來たんですね。藝者に出たのは、ごく最近のことで、伸一君が、歸つてから間もなくでした」

「伸一は、昨夜、その女の處へ行つたんですね」

「さうですとも、濱町の金水といふ料理屋でね」

「マアー料理屋で――」

「泣いたり笑つたり、どうも大騷

しかしながら、彼は、むしろ、勝代のことを話して、母の誤解を解いて置くには、反つて好い機會である、とも思つたが、如何せん頑固な夫人は、容易にそれを聽かうとはしなかつた。

到頭、母の機嫌を損じたまゝ――」

――そして、勝代は、自分の愛人でもあるかのやうに、誤解されたまゝ、空しく母の前から退くよりほかはなかつたのである。

しかし、母の誤解を受けたことは、今更止むを得ないとしても、それと同時に誤解を久彌にまで持たれることは、伸一に取つては、忍び難い苦痛であつた。

しかし、もう其時には、久彌の耳にも入つてゐたのである。それを話したのは、やはり夫人であつたが、しかし深く伸一を信じてゐる彼であつた。また、狂氣に母の言葉を信じるほど輕率な彼でもなかつた。

殊に、母へ密告した者が、曲解のならない邦彥であるだけに、久彌は一層憤慨した。

林陸相の後任は

眞崎 柳川 兩將軍最も有力

決定は閑院總裁宮御歸京後 十四か十六日に

（東京國通）林陸相の辭意は全く鞏固で、十一日夜陸相官邸で林陸相、眞崎大將、荒木軍事參議官參集、後任問題を銓衡したが、德島の赤十字大會へ御臨席中の閑院總裁宮殿下の許へ柳川次官を特派し內意を伺ひ、歸京の上最後の決定を見る筈だが或は十六日の御歸京豫定を十四日に繰上となるやも知れず、後任には眞崎大將、柳川次官が有力視されてゐる

辭表執奏の場合

首相却下を奏請せん

（東京國通）齋藤首相は林陸相と會見後直ちに堀切書記官長を招致し陸相の辭意表明取扱ひ方に關して協議を凝した結果首相としては問題が令弟白上氏のことであつて自身と直接關係ある問題でないため辭任と認めず、直ちに慰留し陸相が飽くまで辭意を翻さない場合は辭表執奏の場合辭表を聽許あらせられざる樣辭表の却下を奏請することとなつた模樣である

陸軍部內は

林陸相の留任を希望

（東京國通）陸軍部內は非常時局と後任難より林陸相の留任を希望し居り、飜意せぬ際は相當の波動ありと察せらる

辭表提出の經緯

（東京國通）林陸相は十一日正午陸相官邸に眞崎敎育總監植田參謀次長を招き自分の實弟たる白上佑吉が有罪と決定したので其の責任を痛感してゐる次第で辭表を提出したい旨を述べ、諒解を求めたので眞崎總監、植田次長はいづれもこの事は既に敎育總監當時に辭表を聽許あらせられなかつたことであり陸相就任の當時も自身の問題でないから差支へあるまいと言ふ見解に首腦部は意見が一致してゐたのであるから辭任に及ぶまいと慰留したが陸相は責任上辭意を翻さず齋藤首相に辭意を表明するに至つたものである

林陸相語る

（東京國通）林陸相は齋藤首相と會見後有末秘書官を通じ左の通り語つた

次弟が有罪となつた上は陸相としてお上に對し又世間に對しても誠に申譯がなくひたすら謹愼して居る、辭表を提出したことは今何も言へない

觀兵式の警備打合せ

十四日午後一時から新京憲兵隊本部で市內の警備關係員が集合し來る五月十日擧行される觀兵式警備警備の打合せをすることになつた

政務官引上問題 政友靜觀

（東京國通）政友會では午後二時本部で總務會を開催し政務調査會特別委員長を詮衡し米穀對策委員長に島田俊雄、行政機構委員長山本悌二郞、日滿經濟委員長に芳澤謙吉氏を夫々決定後若宮幹事長より政黨共同調査問題の報告あり最後に政務官引上問題を懇談したが政局の推移を注視して態度を決するに決定し四時半散會した

四民維持會の訪日答禮團 十一日渡日

滿洲事變勃發直後民間團体として治安維持其他に多大の貢獻をなした四民維持會（本部奉天）は今回日滿提携並びに感謝使節として會長王維周氏理王顧惟、哈參議代理（令息）哈初年等一行九名よりなる訪日答禮團を組織、十一日午前九時新京驛發渡日せしめることとなつた、一行は旅程三週間の豫定で東京にて陸海各相外關係方面を訪問し、京阪地方を巡遊の筈であるが、最近の鄭特使一行の訪日に對比し民間の特使とも云ふべく注目されてゐる

鐵道益金の一般會計繰入 應諾されん

（東京國通）鐵道益金の一般會計繰入れにつき鐵道當局は鐵道財政上困難視し反對して居るが、三土鐵相は極短期間の臨時的措置とすれば應諾するの外なしとしてゐるが九年度豫算の鐵道益金六千三百十三萬圓中約半額は、建債償却的性質を有するものであるとし殘り半分を一般會計に繰入れねば財源を公債に求むることとなるものとしてゐる

東京市疑獄判決

（東京國通）一昨年五月前東京瓦斯鈴木專務の收容に始つた瓦斯及び市長選擧疑獄事件は午前十一時地方裁判所大塚裁判長より左の如く判決あり

懲役六ケ月（執行猶豫三年）　鈴木寅彥
無罪　奥田龜造
懲役十ケ月　白上佑吉
懲役一年二ケ月　大神田軍治
懲役四ケ月　高橋義次
懲役五ケ月　國枝捨次郞
懲役三ケ月（執行猶豫二ケ年）　鵜月學
懲役三ケ月（執行猶豫三ケ年）　石橋政治
懲役三ケ月（執行猶豫三ケ年）　十時章

滿洲視察斡旋委員會 本格的活動に

設立早々東京高等師範學生十七名を斡旋し見學の便宜を圖つた滿洲視察斡旋委員會は視察季節に入ると共に愈々本格的活動を開始すべく近く幹事會を開き萬端の協議を遂げることとなつた

日滿協同工作の意見完全に一致す

滿洲產業開發、門戶解放、對ソ問題

（東京國通）滿洲國特使は十一日午前九時新京驛發列車で廣田外相、永井拓相、丁公使等の見送りを受けて離京したが、京都で鄭特使と落合ひ桃山御陵に參拜して歸國の筈である、兩特使は高橋藏相、廣田外相、林陸相等と會見の結果、滿洲開發日滿提携で左の共同方針を採る事に意見一致したものと解せられる

一、產業開發　滿洲國を原料國としては勿論、將來工業國へ發展せしめるため財政的に、技術的に援助し、日滿經濟團体の合作を勸誘すること

一、門戶開放　列國資本の流入は公平なる滿洲としては歡迎するが日滿經濟の特殊性に基く日本の特殊利益に抵觸せぬこと

一、對ソ問題　北鐵交涉の成立を明しこれを機會に國境の確立、赤化問題の解決を圖ること

恩賜の煙草を捧持 今村鐵道部長代理沿線へ

（奉天國通）長き勞りより滿鐵現業員に御下賜の御紋章入りの煙草を奉じ鐵道部長代理今村部員が捧持し本日午後二時五十四分奉「ハト」にて白井鐵道事務所長以下多數の出迎へを受け來奉した、尙今村部員は驛頭に於て白井所長に奉天管內への御下賜品を傳達同三時新京に向つた

ゼエクト將軍 國府軍事顧問就任確實

（東京國通）外務省着電によれば南京政府軍事顧問に招聘されたドイツのゼエクト將軍は記者團と會見せぬがハンス秘書は『將軍の渡米は種々目的あるも公式使命なく個人的視察で其旅程も未定だ』と語りドイツ政府は否定してゐるが將來の軍事顧問就任は公然の秘密でベルサイユ條約に違反するが我外務當局は問題化せぬ意向である

商工視察團 十一日渡日

すでに第二期經濟工作時代に入らんとしてゐる滿洲國の中堅實業家から成る各地商工團体では、先進國日本の商工狀況を視察し將來滿洲國產業發達促進の一助となすべく計畫しつつあつたが、此の程協和會及大連に本社を有する泰東日報社の斡旋により愈よ十一日午後四時半新京を出發、內地商工狀況視察に赴くことになつた

右視察團の一行はハルビン一名、チチハル一名、新京二名、吉林二名、奉天五、熱河一名、大連六名、營口一名、安東一名の各商工團体中の有志より成り、引率者として工藤協和會員及泰東日報社の柳河精氏が同行する事になつたが一行は十三日うらる丸で大連を出帆し、約廿日間に亘つて神戶、大阪、京都、奈良、名古屋、濱松、橫須賀、橫濱、東京、福岡、久留米、宮崎の各都市を視察する筈である

神戶の武器密輸入團檢擧

（神戶國通）非常時の波に乘つて外國より武器の密輸入あるを探知した神戶水上警察署では嚴探中同市內銃砲火藥店小田東場を檢擧取調べの結果一味は三十四名の大密輸入團を組織し商船、郵船、原田汽船の乘組員と共謀、ピストル三萬挺、實彈三十三萬發（價格百萬圓）を密輸入したことを自白した

五月下旬 第三回敎育廳長會議

文敎部では全國の敎育狀況を明瞭にし將來の敎育計畫を樹立するため五日下旬に文敎部で第三回敎育廳長會議を開會することとなつた

滿鮮商議理事會 復活

新たに復活した滿鮮商工會議所聯合理事會は十三、十四兩日平壤に於て擧行されるが當地商議より同會に出席のため大坪書記長は十日安東に向つた、尙同聯合會を今後每年開催するかにつき十四日の會議で協議されるが、大体存續說が有力である

越境飛行家 訊問調書發表さる

ソ聯の迫害で脫走を陳述

ソ聯脫走飛行家兩名に對しては軍政部軍法會審に於て取調べ中だつたが、本日外交部からお訊問調書發表された

訊問調書

ソ聯沿海州ワスクレシエンカ飛行第三十編隊
操縱士　ニコライイワノウイッチワフラメエフ　當廿八年
同 機關士　ニコライデレンチウイワチドミトリエフ　當廿三年

右兩氏に係る故なく國境を飛越し滿洲國領土內に着陸したる事件につき康德元年三月二十六日軍政部軍法會審に於て訊問すること左の如し

問　氏名年齡所屬部隊官等級前記の通り相違なきや
答　相違ありません
問　兩名は本月十一日軍用機に搭乘し滿洲國吉林省密山縣小興凱湖岸に飛來着陸したるに相違なきや
答　相違ありません、監視機に搭乘し所屬隊飛行場を、同日午後二時出發同三時十五分同湖岸に着陸しました
問　飛來の經路如何
答　ワスクレシエンカ所屬隊よりプロハリフワリンカを經て一路國境を越え興凱湖を目標として飛來しました
問　兩名故なく國境を飛越し當國領土內に着陸したる理由如何
答　「操縱士」私は一九三一年飛行隊に入隊し昨年七月ワスカに派遣せられましたが曩に私の父はソ聯に於けるため殺害せられ私も亦同樣反ソ分子の觀られある樣に感じ、精神上の壓迫を受け、而て若し飛行機を破損し機關を壞せばカムチャツカに放逐せられ、殺害せられる由も聞き、常に身邊に危險を感じ、不安に堪へませんでした、又勤務は非常に激務でありまして且給與は非常に薄く、從つて生活困難で物質的にも壓迫を受け絕えず不快の感を懷いて居りました折柄偶々新制のモーターを該機に裝備せられ同日その試驗飛行を命ぜらるにより好機逸すべからずと一氣にソ聯を脫し滿洲國に逃入した次第です
「機關士」自分の身を逃れ樣としたので同乘の操縱士はさうならうと云ふことを顧みる暇はなかつたのであります、又私が滿洲國に入したのは父の友達が滿洲國に居住して居るを聞いて居りまして彼に賴れば助けて吳れるだらうと考へたのであります、私は其の飛行機に同乘しましたが元來陸上勤務で飛行機に乘つたことがないので地理も方角も判らず國境を超えにかかつたかも知りませんでした、然し私は私として全く別個の立場に在り操縱士よりの勸誘せられた譯ではありませんが實は私は永く軍隊生活をする意志は少しも持つて居りませんのに農民たる私を強制的に飛行學校に入校せしめ卒業後「スパスカ」に配屬せられましたが其の軍隊の狀況は天幕生活であり被服は雨に濡れても着替は與へられず早朝より十一時間勤務し其の間寸暇なく給與は十分ならず、特に友人間の交話は絕對に禁ぜられ常に不平不滿を懷いて居りましたが若し不用意に語れば忽ち「ゲペ、ウ」に密告せられ如何なる處分を受くるやも計られず精神上にも肉體上にも非常なる壓迫脅威を受け不安を感じ日を送つて居りました、又私的生活に於ても物價は高く物資は乏しく俸給は少なく物質的にも非常なる窮迫をして居りました、之等の壓迫脅威を受ける事は非常に苦痛でありました、口にこそ出しませんでしたが心中では良い機會があつたなら脫走し樣と常に思ふて居たのであります、然るに同日は試驗飛行を命ぜられ其の途中不圖飛行機が滿洲國に着陸し、豫ての目的が偶然達成せられ、彼の苦境から解放せられて自由になることが出來たことは私の心から喜んで居る所で再び本國に歸る意思を毛頭有しないのであります、どうかして自由に此地に於て生活の出來ることを希つて居る次第であります
問　兩名は命を受けて滿洲國偵察の企圖ありたるに非ずや
答　斷じて左樣なことはありません
問　滿洲國に敵意を有しソの公安を紊さんことを企てたるに非ざるや
答　決して左樣な考へは持つて居りません
問　飛行機の故障其の他不可抗力に依る不時着陸に非ざるや
答　着陸時は飛行機には何等の故障もありませんでしたが着陸後直ちに匪賊に襲はれ私等兩人は拉致せられましたから其後の事は知りません
問　兩名は此事の結果が如何なると思ひ居るや
答　「操縱士」私は前述の如く身邊の危險を脫せんと欲し貴國に闖入したものでありますから其の結果が如何になるか等と考慮したことはありません
「機關士」私は國法に反したる故を以て貴國の制裁を受くる事を恐れつつも滿洲國は平穩で誠に良い所だと思ひます、若し自由に職に就いて働かして貰へるならば幸福だと思つて居ります
問　他に申立つることなきや
答　ありません

ニコライ、イワノウイッチ　ワフラメーヨ　拇印
ニコライ、テレンチウイッチ、ドミトリエフ　拇印

右解示したる處兩名共相違なき旨を述べ署名拇印したり

康德元年三月廿六日
軍政部
書記官　上尉軍法官　紀[illegible]鵬
審問官　上校軍法官　張元官

ソ聯脫出の操縱士 記者團と語る

「今更歸る氣はない」

世界的センセーションを卷起したソ聯脫出二飛行將校の行方については其後杳として知られず多大の疑惑をもつて見られていたが忽然として新京街上に姿を現した、本京記者團は十二日午前十時より協和會階上に於て會見をした、操縱士ニコライ、ワフラメエフは當日發熱の爲め出席しなかつたが赤顏い、六尺近い堂々たる體軀のニコライ、ドシトリエフ機關士が出席し朴訥な口調で大要左の如く語つた

今更歸國しやうとは考へない、歸國の後に來るものは銃殺である、軍隊生活の折も心の內では脫出の機會をねらつていたくらいだゲペウはソ聯の如何なるところにもひそみ嚴重な監視の網を張り人間の總ての自由を奪つている、萬一にも彼等の忌諱にふれる場合は銃殺かさもなくば強制勞働を課せられるのである、一般民衆の生活に至つては實に悲慘でお話しにならない、これらの民衆はあらゆる不滿に滿たされているもただ彼等を恐れて沈默するより外方法がない、皆默々と働かされている、滿洲國は總べてがよい樣であるせめては自分がこの地にあることを何んとかしてソ國に居る妻に知らせてやりたいと思ふ

北滿を舞臺とする重大國事犯逮捕

ハルビン憲兵分隊の殊勳

（ハルビン國通）北滿を舞臺に〇〇國〇〇〇と聯絡をとり〇〇〇〇を提供するといふ恐るべき賣國奴的罪を犯しつつあつた〇〇縣生れ〇〇〇、（三四）の重大國事犯人が去る二月中旬當地憲兵分隊員の手により逮捕された、右に關し特高員總動員で約一ケ月間に亘り嚴重取調中であつたが、犯行の重大性と〇〇〇〇〇の甚大なるに鑑み重大國事犯人〇〇〇〇は一件書類と共に新京憲兵隊本部に護送され、引續き取調中である、この重大犯人は明大出の北滿の經濟通として知られ殊にホロンバイル研究者として有名であるが、尙取調べの結果によつては意外の方面に波及する模樣である

承德日本人小學校の開校は 四月中旬頃

（承德國通）承德に於ける日本人の發展振りは目覺ましきものあり、これに伴つて日本人の人口も激增を示してゐるが未だ日本人小學校開設されず東本願寺住職の獻身的努力により變則乍らも應急の辦法が講ぜられ學齡の子女を有する家庭中には遠く錦州奉天の知人親籍に寄せしめて敎育を施してゐる者もある狀態で、一般市民に日本人小學校開設の必要がさけばれ、居留民會側でも百方考慮設立準備中であつたが、今般淩源に於て開催された全熱河省日本人民留民會長會議の席上で大体の大項が纏り該計畫のため新京大使館に赴き折衝中であつた中根領事も歸承したので、外務省補助、承德日本人小學校は遲くとも本月中旬迄には開校の運びに至るものと觀られてゐる因みに現在推定の入學希望兒童數は承德に於ては約四十名で校舍は承德の元宣撫班跡を充當し、訓導は二名の豫定である

人事往來

▲周正平氏（吉林省警察廳長）十一日午後零時三十分著吉林から
▲荊魚魁氏（吉林商務會々長）同上
▲趙鐵芳氏（安東電業公司總辦）十一日午後四時三十分奉天へ
▲貴嵩瑞氏（新京電報局總務處長）十一日午後十時發本埠へ
▲上原種嶽氏（室町小學校長）十一日午後七時三十分着內地から
▲大隈勘次郎氏（新京公學校長）同上
▲有賀總務廳長（滿鐵）十二日午前七時來京

團体

▲大阪工業新聞社十五名十五日午前七時來京ヤマトホテル投宿十六日午前十一時三十分發南行
▲大分商業學生二十八名二十日午前七時來京同日午前十一時三十分發南行
▲戰跡視察幣束魂見學團二十名二十日午前七時來京二十一日午前六時廿分發四平街へ

海外經濟

▲銀塊及爲替　倫敦銀塊 [illegible]　紐育銀塊 [illegible]　米英爲替 [illegible]　米日爲替 [illegible]　米支爲替 [illegible]

▲印棉　▲上海標金　▲上海日本向　▲上海倫敦向　▲上海紐育向　▲大連金鈔票　▲大連上海向　▲大連煙台向　[illegible]

各地市場

▲阪神日米爲替　▲大阪株式　▲同短期　▲大連株式　▲大阪三品　▲大阪棉花　▲大阪期米　▲仁川期米　▲橫濱生糸　▲神戶豆粕　▲カルカツタ麻袋　▲大連特產　[illegible]

新京市況

特產 大豆・高粱・小豆・包米　現物 出來高 [illegible]
鈔票 現大洋對金票・國幣對金票・現大洋對鈔票 [illegible]

附屬地彩票の販賣 第二回から禁止す

日本刑法百八十七號に抵觸 犯せば嚴罰に附す

滿洲國財政部發行の福民獎券の販賣は附屬地内金泰洋行、並に松尾商店で取扱つてゐるが愈よ第二回販賣から一齊に販賣を禁止することに決定し十二日新京署から各販賣者に通知を發したい即ち刑法第百八十七條富籤を發賣したる者は二年以下の懲役又は三千圓以下の罰金に處す富籤發賣の取次を爲したる者は一年以下の懲役又は二千圓以下の罰金に處す前二項の外富籤を授受したる者は三百圓以下の罰金又は科料に處す の條文適用を受けるもので最近に於ける公然たる販賣方法に對し關東廳警務局では去る卅日付各管下警察署に命じ

一、管下各地の滿洲國彩票代賣販賣取次ぎ

一、滿洲國人の管内に於ける賣買

一、彩票賣買のビラその他の廣告

を禁止する事となつたものである

大人氣の福民獎券 第二回發行準備成る

第一回福民獎券は發賣以來非常な人氣で各地共殆んど賣り切れの盛況を呈し抽籤日が待ちわびられて居る抽籤は十四日午前十時新京城内四道街新京總商會樓上で四道街警察署長始め關係各當局立會ひの上嚴正に行はれるが人氣が人氣だけに當日は一般參觀者も多數押しかけるであらうと豫想されて居る、財政部に於ては早くも第二回獎券發行準備も終へ十五日から一齊に各代賣店の手で全滿に賣り出す事になつたが、發賣の上は第一回にも增した大人氣を湧き立たせるものと期待されて居る

關東軍倉庫から 酒やビール等を盗む

十二日午前二時から同六時の間に關東軍倉庫から櫻正宗二斗入二樽、ミルクキヤラメル二百個、キリンビール二打入十箱、ライオンサイダー四打入二十箱時價百七十三圓六十錢を盗み出してゐるを發見し目下犯人捜査中である

匪首曹漢周 逮捕さる

先月中旬頃より數名の强盗を組織新京市内外一帶を荒し廻つた名代の匪首公平の檢擧については過般來新京警察署全員を擧げて血眼の捜査を續けてゐたが去る二月共犯者の一人が逮捕され其の後取調べにより犯人は尙當地附近に潜伏中なること判明、當局では更に躍起の活動を續けてゐたが十一日午後九時頃井上刑事外二名の一隊は、鐵道北に於て市内に潜入せんとする犯人を逮捕し直ちに引致取調中であるが右は本籍吉林省長春縣萬寶山、住所不定曹漢周と言ふ有名な匪首である

迫る娘々祭 今年は盛大に 催しもの等も決る

既報、大屯驛主催の五月大屯阜豐山娘々祭に關する打合せ會は十日午後二時から大屯原種園事務所で開かれたがその結果次の如く決定した

一、期日五月二十八日から六月一日まで五日間（既報五月二十日から二十四日までを變更）

一、設備 鐵道側で新京、公主嶺間に臨時列車運行、大屯驛、阜豐山間に輕油動車運行、山には臨時乘降場、臨時待合室を設くる

一、宣傳方法 イ、新聞（漢字）紙上を通じて情報處で大々的に宣傳を行ふ ロ、情報處で宣傳ビラ、ポスターを作つて大屯驛長に送る、驛長はこれを各關係箇所に配布する

一、新京城内の宣傳 情報處協和會で大々的に宣傳する

一、縣公署、民政部に對しては宣傳方を情報處から通達する

一、催し物 イ、山上で劇を行ふ ロ、彩票募集、一枚五錢程度の彩票を發行して一等二十圓、二等十圓位の賞金を出し催物の經費に當てる ハ、花火打上げ（協和會では考慮してゐる） ニ、花火に彩票を仕込んで拾つた者に豚一頭をやる ホ、夜間は映畫會を協和會で行ふ

なほ期日を五月二十八日から六月一日までに定めたのは古來の習慣上舊曆八日の日を中心としてやるとのことで舊曆四月十八日を中心にして規定したものである

職業補導部へ 一日百人の在鄕軍人

採用就職は一日五人位が關の山 首都新京の就職戰線

非常時といふ重壓に疲弊のどん底にあえぎながら、じつと堪へ忍んでゐる内地人にとつては ＝富源＝ の滿洲、新興滿洲國新京の言葉は見果てぬ夢に拍車をかけるものであり、生きんがための許さるべき人間性の弱點であらう、日々增加してゆく新京の人口もこれらよき捨身の内にも見てはならぬあこがれの夢をえがいて流れて來る人がこの大多數を示してゐるやうである、昨今の統計の示すところによれば昨年末より本年二月末日迄において内地人の增加は男七百六十一人、女四百五十八人、計千二百十九人（地方事務所統計）である、 ＝然し＝ 以上は屆出られた數であつて日々新京驛に下車する新らしく流れ込む内鮮人は一日百五六十人を下らないといふ、局の語る言葉を聞いては ふえ行く人口數が莫大なる數字を示すものであることを想像することが出來るだがこれら多くの來京者の夢はどれ程の實現性をもつてゐるであらう一日關東軍司令部内職業補導部をのぞいて見ると室内は一杯郎下にまではみ出している在郷軍人の就職希望者で室内に入ることさへ出來ない、日々ここを訪れる人々は百人を下らぬさうだ、然し補導部の ＝斡旋＝ による就職は今日迄においても在鄕軍人であるが故に比較的良好であるが昨今においては百人の内一日五六人位が希望を實現されるものであつて需用は飽和の狀態にあるこんな狀況で一般人の就職戰線に至つては正に大異狀をあらう憐れて遠く三百里故國の空を仰いでは現實の悲哀に涙にぬたる數知れぬ同胞の余りに多いかを想像し愁ふることの現象に戰慄するものである

滿洲防空協會 愈よ近く活動開始

去る三月十七日臧民政部大臣を會長遠藤總務廳長を理事長として ＝華々＝ しく發會式を擧げた滿洲防空協會はその後新京中央郵便局前に事務所を設け同會の主事豫備航空兵中佐高木止枝氏以下が事務を開始して居るが同會支部は新京、安東、チチハル、ハルビン、吉林、奉天、撫順、鞍山、本溪湖、營口、大連、旅順、承德に設置せられ新京安東は近く發會式を擧行する運びで新京支部長は金璧東氏、安東は岡本總領事に内定して居り各支部も來月中には成立を了り支部長には市長、縣長、若しくは有力者の中から推薦される模樣である 而して各支部成立の上はパンフレツトの發刊、講演會の開催等を以て先づ全滿に防空思想の普及を圖るが旅順大連の支部が成立すれば ＝同地＝ に於て大規模の防空ページエントを行ふ筈で漸次本格的活動に移ることになつて居る

白系露人が 函館大火罹災者の救恤舞踏の夕

新京會館宮本氏の會場提供に 十五日夜を踊り拔く

曩に當地並に寬城子在留露西亞國人の一部が函館大火災罹災者に同情し義捐金を募集日本官憲經由本社に寄托した事は既報の通りであるが更に當地附屬地露西亞人會は寬城子在住露西亞國人と合同耶蘇復活祭を機會に舞踏大會を開催其の收益金全部を函館火災の義捐金に充てるべく計畫せるも目下新京には此の種の目的に借用すべき適當の場所なく折角の計畫も行惱み居たるを日本橋通りダンスホール新京會館主宮本氏は此の露西亞人の美擧に感激し無條件にて會館を貸與しダンサーも全員出場應援せしむる事を申出たる處愈よ來る十五日日曜日午後八時より同會館にて舊露西亞人並新京會館主催開催の運びとなつた 露西亞人一同は宮本氏の好意的援助に感謝し今回の催の盛大且つ有意義ならしむべく種々準備を進めて居り日滿人に對する入場券は本日より新京會館で發賣する尙當夜は入場料を拂へば徹宵踊り次第と言ふのでダンス黨は大喜で素晴しい人氣である

沖、横川等六志士記念の 映畫「北滿の落花」撮影と配役

（ハルビン國通）ハルビン六烈士事蹟保存會では曩に陸海軍省、關東軍司令部、南滿洲鐵道株式會社、帝國在鄕軍人會、愛國婦人會、滿洲國民政部、同軍政部の後援の下に今より三十有餘年前日露の風雲急を告げし時愛國挺身の行を起し北滿の花と散つた沖、横川、松島、中山、脇、田村の六烈士の歷史的壯忠報國史を永久に記念すべく映畫「北滿の落花」を作製することとなり準備萬端整備中であつたが、既に第一班は興安嶺、第二班はハルビン郊外、第三班はフラルヂで撮影を開始したが「北滿の落花」キヤストは左の通りである

横川省三（淺岡信夫）沖禎介（協田滿洲男）脇光三（林吉章）青木大佐（遠藤金八）日鳥浪帥（木下晉太郎）蒙古王（張泰）川原操（西條香代子）下僚（水木玲子）馬賊の首領王漁唐（村雨新作）喇嘛王（張泰）ロシア參謀長（八木春雄）メイジヤーク大佐（ラウレンチエフ）ゲシン軍曹（ワシリー）シユウチバツプ中尉（ジダーノフ）アブアナワセフ少將（クヅチウオフ）シモノフ大尉（イワノフ）其他日本軍〇〇名、元コザツク騎兵一千五百名滿洲國人五百名出演

軍政部通信機關 兩科練習生卒業

中央陸軍訓練處通信養成部に於て訓練中の第二回通信科練習生二十九名、第一回機關科練習生十二名は去る六日八ケ月間の訓練を終り同處を卒業し壯程全部滿洲國軍の電信所に配屬された

街の日記

上原校長 蘇峯氏と會見 昨夜歸京

東上中であつた上原室町小學校長は教育國民精神作興大會に出席十一日夜歸京したが東京で德富蘇峯氏を民友社に訪れたがその席上蘇峯氏は上原氏のため態々筆をとつて色紙に次の文章を贈つたと

國民教育者至尊ノ聖旨ヲ奉戴シテ將來ノ忠良ナル大任ニ膺ルモノ須ラク自重自愛以テ對揚殿順ノ職ヲ效サザル可ラス

阿片を賣り歩く處を捕る

黒龍江省龍鎭縣城内朝鮮料理店主蘇久熙（二四）が阿片四包時價二百圓を所持し祝町四丁目附近で賣るべく物色中を新京總領事館署谷口刑事に逮捕された

拾ひもの

▲永樂町二丁目三番地新泰洋行内大田アキ子さんは十一日午後七時ごろ東二條通郵便局舍前で黒皮製二ツ折財布一個在中現金大圓を拾つた

忘れもの

▲東二條通滿洲屋旅館止宿山田ユサ子さんは十一日午後五時ごろ彌生町六十四番地から吉野町豐泰號前で客馬車から下車の際濃茶色ハンドバツク一個在中現金六十大圓化粧道具若干を置き忘れた

▲錦町三丁目森逸氏は十一日午後五時ごろ花園町から高等學校寄宿舍に行き客馬車から下車の際布呂敷包在中パレスの羽織一枚白の子供服一着エプロン一枚女物を置き忘れた

けふの銀相場

鈔票對金票 二九五〇

現大洋對金票 二二五〇

國幣對金票 二三五〇

現大洋對鈔票 九四五〇

日本體育協會 大會不參加確定的

山本博士の意見强硬

（東京國通）極東大會參加問題に就いては我が体育協會が强硬態度を持して來たが ＝出先＝ の山本博士の意見を知るため照會電報を發したに對し十一日既報の如く山本博士からも不參加の意見が强調された返電があつたので体育協會側の態度は愈よ强化し今回の大會に參加するのは比島に對する國際親誼に基ずくもので日本にとつては何等利益を齎らさないものであるから斯の如くヒリツピン側が我國の親誼を裏切る態度に出るならば當然大會に參加する必要はなく比島の不參加によつて比島側が反省し態度を變更して滿洲國參加に賛成するとか申込んで來てもこれは別問題であつてその際に不參加を取消すか否かは我國の自由と言ふ意見が有力となり來つたよつて十一日午後六時から開かれる理事會では强硬論に ＝一致＝ すべく大會不參加の決定は殆んど確定的とみられるに至つた

我態度を通知し 反省を求む 日本體協比島に長電を發す

（東京國通）体育協會理事會は態度決定と共に杉村陽太郎氏等八氏を小委員として比島体協に對する日本體協の態度を通知し並びに比島の反省を求める電文作成を依頼しその成案を審議の上、午後十時半の通牒を比島體協に打電し如く發表した

體協發表 本日の理事會の空氣は現狀において不參加に決するも已むを得ざる意向に支配されてゐるが、殘されてゐる手段としてその返事により最後的態度を決定することとなつた

電文

滿洲國の參加問題につき大日本体育協會は頭初より純然たるスポーツの見地に立ち毫も政治的考慮を加ふることなく措置し來りたるは公知の事實なり、我協會はフイリツピンの信義及び友情に基き多大の犧牲を拂ひ參加のため準備し來りたるはフイリツピン側でも必ずや諒させらるゝ所なりと信ずる

山本代表の報告により滿洲國の參加は多數決により決し得べき旨マニラに於ける比島代表間に諒解なりたる旨を承知し滿足し居りたるに上海圓卓會議の結果が全然豫期に反したるは我國の慨痛する處にしてスポーツの見地より加入資格充分なりと認めらるゝ滿洲國體協の現實を無視し、これが今回の參加を不可能ならしめたるはスポーツ精神にも背戻するものと云はざるべからず、大日本体育協會はこの點に關しフイリツピン体協の深甚なる反省を促すものとすフイリツピン側の態度によつては日本側でも相當重大なる決意をなさざるべからざるを以て右に關する確定的意見を當方大會參加の準備の都合もあれば遲くも十四日正午までに回電ありたし

滿洲國の名稱を 支那代表も使用した

圓卓會議は此意味で成功

（上海十一日發國通）今回の會議は事實上の決裂に終つたが今會議を通じて特に注目すべきことは支那側代表が最初中國體協名譽會長王正廷氏の訓電により滿洲國なるものは存在せずとなし頭から滿洲國參加問題の討議を拒まんとする態度を改め滿洲國を極東大會に參加を要求し得る一國として認め其の參加問題の討議に應じた事實である、加ふるに英文の議事錄中には明かに所謂滿洲國と明記し從來支那側が必ずその前に附記した（所謂）なる文字を省いてゐるが、今後は極東大會に關する限り滿洲國は厳然として其の存在を明かにしたと言ふべく頑迷な支那を此處まで引きづつたことは日滿代表部の一大成功と言ふべきである

在平中の王正廷氏語る

（北平十一日發國通）滿洲國の極東大會參加問題につき在平中の王正廷氏は記者に左の如く語つた

我國は勿論國際會議に於ても滿洲國不承認の原則は確認された處であつて日本が滿洲國の大會參加の議を提出することは全く何等の根據をも有しない、極東大會條例には總て新たに同大會に參加するものは其のため各國の同意を得なければならぬ旨を規定されてゐる、然る滿洲國の參加は未だ各國の同意を得ず從つて日本の此の提案は實現し難い、日本が强ひて參加を望むときは我國としては斷じて大會より脱退する外はない

尙同氏は本日當地發大會準備のため上海に赴く筈

マニラの定例會議は 役員のみ出席

（上海十一日發國通）上海特別會議が事實上決裂に終つた ＝結果＝ 日本代表より滿洲國參加問題解決まで大會延期を提議し比島代表より本國體協に打電請訓したが、右に對する回答は今日に至るも到着せず愈よ比島側の誠意なきことが明かとなつたので日本代表部は山本主將代表の名を以てフイリツピン體協に打電し今後如何なる事態を生じるもフイリツピン側の責任であるとの最後通牒を送り今後の代表部の態度については日本は大會脱退を要せず寧ろこれを指導する立場より滿洲國の參加問題の滿足なる解決を見るまでは絶對に選手の派遣を取止むべしとなし十一日日本体協宛右の意向を打電した、隨つて五月マニラに開催される極東大會定例會議には ＝役員＝ のみを派遣するか又はマニラ駐在總領事を通じ大會の根本的改造案を提出する模樣である

比島体協遺憾の意を表明

（東京十一日發國通）フイリツピン體協では在京のマニラ新聞記者を通じて副會長バルガース氏の名で左の聲明をなした

極東大會に關する最近の過程につき遺憾に感ず、我等は日本との友好關係の持續を熱望す、しかし現行憲法では上海に於ける我態度は已むを得ない、フイリツピンは現行憲法では新參加國承認につき滿場一致の投票制を遵守すべき義務を感ずるがマニラに於ける極東大會定例會議では三國一致を要すと言ふ條項を「多數決に」と修正するに試意するもので右は山本代表に約束し今後もこれを守らんとするものである

四月十三日 金曜
舊二月三十日 甲寅
先勝 開 牛宿

●一白の人 機先を制して先陣に立つべし人後に落るな 乾さ丑さ寅か吉
●二黒の人 有頂天さなる時は却て失敗を招くことあり 亥さ子さ丑か吉
●三碧の人 不安の念を驅除して本業に精進せらるべし 甲さ乙さ坤か吉
●四緑の人 運氣平静にして行狀忠直なれば向上する日 甲さ坤さ申が吉
●五黄の人 間違ひの起り易き日大望は殊に大失敗の基 巽さ坤さ子が吉
●六白の人 業務の衰退を來たすべきも陋策を廻らすな 乙さ子さ寅か吉
●七赤の人 見ざる聞かざる言はざる三猿主義に可なり 甲さ巽さ艮か吉
●八白の人 利益思ふ儘ならずさて舊業を見捨つるは凶 巽さ坤さ艮か吉
●九紫の人 氣運盛なれさ眼位適せず人を凌ぐべからず 申さ庚さ乾か吉

知識眼科醫院
新京大和通六六

歯科 口腔科
早川醫院
錦町二丁目 電話三二九六番
診療時間 自午前八時 至午後六時 日曜祭日 午後休診

歯科 口腔科
安利醫院
東京歯科 醫學士安利剛 日本橋記
診療時間 自午前八時 至午後八時 日曜祭日午後休診

皮膚、泌尿科 外科、性病科
同仁醫院
富士町二 電話二六〇六番
診療（自午前九時 至午後五時）日曜祭日午前中

味の素
（登錄商標）

舌が決めた世界一！

美味 吸物煮物漬物の醤油等凡ゆる料理に用ゐて風味は倍加

便利 削る手數や煮出す世話もなく時間は省けて非常に重寶

經濟 効力絶大なるが故に極めて少量用ゐれば足り頗る德用

宮内省御用達　味の素本舗　鈴木商店

誰のお身體も
仁丹で胃腸を丈夫にすれば
常に病氣にかゝらずに
元氣で暮せる

銀粒仁丹

大懸賞
十八金腕時計
其他大當り
目下賣出中

常備神藥仁丹總行 森下博大藥房
仁丹滿洲總經理 日本賣藥會社

青柳の鯛すき

新鮮なる魚菜、芳醇なる菊正、鯛すきは新京の元祖!!!

祝町鮮銀北横町
電話三〇六〇番

林陸相辭任の余波

政局波及を虞れ 政府善後策を考究

辭意固く首相の慰留も無駄

(東京國通)林陸相は辭意固く齋藤首相の慰留に應ぜず、爲めに齋藤首相は十一日午后六時三十五分陸相を官邸に訪ひ辭去直ちに四谷の私邸に入りこれが善後策を考慮するところあつたが首相としては慰留に手を盡した上あくまで飜意せざる場合は辭表を執奏すると同時に後任詮衡に着手することゝなる筈で政府としては陸相の進退問題が政局に影響を生ずるやうな事態を招來せぬやう萬遺算なきを期してゐる

のあり、首相は辭表を預ることにしてはゐるが、極力慰留の方針であるから辭表の扱ひ方に就ては極めて愼重を期してゐる模樣で林陸相引止めのため凡ゆる手段が週らされるものと思はれ、場合によつては有難き御沙汰を拜して留任することになるのではないかとも考へられるが、林陸相の辭意は道義心から強く責任を感ぜられたものであるだけに「慰留」は頗る困難の如く齋藤首相も相當窮境に立つてゐる
齋藤首相は十二日午前八時十分陸相を再び官邸に訪問、改めて慰留を懇請し五分間で會見を了つたが、右會見後齋藤首相は記者の問に對し未だ何もお話する事はないと語つた

陸相の飜意に 陸軍首腦部協議

緊張する陸相官邸

(東京國通)荒木大將は十二日午前八時五十分林陸相を訪問、四圍の狀勢に鑑み極力慰留に努めたが、陸相は御好意は感謝するが實弟が「有罪」の判決を下されたのは輔弼の責に任ずる國務大臣として恐懼に堪えないとて苦衷を披瀝し依然飜意の模樣無く荒木大將は四十八分餘にして辭去したが、入替つて眞崎教育總監が陸相を訪ひ重ねて留任を懇請した、眞崎教育總監植田參謀次長及び柳川次官は十一日午後七時十五分より陸相官邸に參集し、先づ林陸相より齋藤首相との會見結果を報告、慰留に應じ難い理由を説明諒解を求めたので一同もこれを諒承し、首相より後任推薦を求められた場合の準備として後任詮衡に就ても意見の交換をする處あつたが、更に午後九時十分から麴町五番町の次官官舍に荒木大將、眞崎教育總監、柳川次官の三首腦者が會合し先づ眞崎總監から荒木大將に林陸相の辭表提出に至つた經過を説明して前陸相として荒木大將の「意向」を聽取し種々重要協議を遂げたが、眞崎總監は同十時四十分辭去し、荒木大將は居殘つて柳川次官と協議して十一時四十分辭去したので柳川次官は直ちに陸相官邸に林陸相を訪問して荒木、眞崎兩大將との會見顚末を報告した

現役をも隱退

陸相三長官に申出ず

(東京國通)林陸相は辭表を提出と共に三長官に對し現役大將をも同時に隱退する旨申出でた

辭意かたく

首相極力慰留に努む

(東京國通)林陸相辭表提出は實弟白上佑吉氏が東京市助役時代の市疑獄事件に「連座」して十一日第一審の判決があつたため道義觀念から責任を痛感した結果と觀られてゐるので、政府としては極力慰留に努める方針で齋藤首相は十二日朝再び林陸相を訪問して時局の重大性に鑑み曲て留任ありたき旨を述べて飜意を懇請する處あつたが、林陸相の辭意は依然强固なるも

內閣總辭職は噓

三長老會議後山本內相語る

(東京國通)三長老閣僚會議後山本內相は左の如く語つた
今日の會見は首相より昨日及び今朝の二度に亘つて林陸相を慰留した結果の報告を受けたものであつて、閑院參謀總長宮殿下の御意見もはつきりしないうちは決定しない何か內閣の總辭職といふ樣な事を噂するものがあるそうだがそんなことはないよ

陸相の飜意は 陸軍首腦の觀測

絶望か

(東京國通)眞崎教育總監、荒木大將、植田參謀次長、柳川次官の各首腦者は林陸相辭意固き爲め後任問題に就いて協議奔走をして居るが、未だ十二日朝までは後任問題の工作終らぬ爲め、今朝四國の御旅行先の閑院參謀總長宮殿下に陸軍首腦部の意向を奏らして御內意を承はりに行くことになつてゐた植田參謀次長は一時出發を延期した、而して陸軍首腦部では陸相が辭意を飜すことは最早や到底絶望であると見てゐる

鮮銀の五圓紙幣 改裝

(京城國通)意粧を凝らした鮮銀の五圓紙幣が本年末には市中に現はれる事となり、次いで新百圓紙幣も來年早々御見得する、先般發行濟の新一圓、十圓紙幣と共にこれで四種共總べて小型に變る譯である

京都に於ける 特使一行

(京都國通)鄭總理大臣十二日早朝六時より平安神宮參拜瓢亭で朝食をとり昨夜東京より入落した熙大臣一行共に九時ホテル發京都御所修學院離宮を參觀正午は京都ホテルに於て京都府市商工會議所主催の合同歡迎會に臨み、夜は舊知の詩人長尾、藤井氏等の招待で大津に至り春色酣なる琵琶湖に樂しみの詩作を凝し京都最後の一夜を樂しみ、隨員は都踊りを觀賞し十三日午前九時十三分京都發大阪に向ふ
熙治財政部大臣一行は十二日午前中鄭總理大臣一行と御所其他を拜觀後東山の清浦伯別邸で午餐後は嵐山に京の春色を訪ねる筈で十三日は桃山御陵參拜、宇治に遊び十四日午前京都發鄭特使一行のあとを追つて大阪に向ふ豫定

新京郵便局 異動

關東廳遞信局では十一日附で局員の異動を發表したがうち新京郵便局關係のものは次の通りである

蘇家屯郵便局長を命ず 郵便課長遞信書記 伊藤 台
新京郵便局勤務同 本田 菊次
新京郵便局郵便課長を命ず 烟台郵便局長同 東島喜代太
新京郵便局勤務を命ず 三笠町出張所長遞信書記補 大坪 市造
日本橋通出張所長同 佐土原 孝
八島通出張所長同 秋山 萬吉
遞信書記に任ず(各通) 新京郵便局事務員 御子柴 清 渡邊 勝 吉田 克己 森谷 節夫 木村 日吉
遞信書記補に任ず(各通)

滿鐵辭令

事務員を命ず 新京驛々務方 增田 英一
技術員を命ず新京驛々務方 宮之園 清
新京高等女學校教諭に任ず 三田村 亭
新京地方事務所事務助手 甲備 海尾 國廣
本溪湖地方事務所外勤助手を命ず
新京販賣事務所現業助手 甲備 坂口 吉子
待命を命ず(商事部勤務)

藏相の 郵料値上計畫

遞相も反對せぬ

(東京國通)高橋藏相の全面的財政建直し計畫に對し遞信當局も郵便料値上げの交渉ありと觀て具體的調査を開始する模樣で南遞相も財政々策上の企圖なら已むを得ずとし反對せぬ模樣である値上げ範圍は葉書を二錢に、封書を四錢に改正せんとし之により一千萬圓の增收が期待される

帝政慶祝特使に 政友會芳澤 前外相派遣

(東京國通)政友會では十一日の總務會に於て滿洲國帝政實施に對する慶祝を表する爲黨代表として芳澤前外相を滿洲國に派遣するに決し、十二日幹部會の承認其の他の手續を終り次第發表する筈である尚芳澤氏としては政友會日滿經濟統制特別委員會委員であるため滿洲各地の實狀其の他特務的、滿鐵等の關係を詳細に調査すると云ふ目的も含まれてゐると言ふことであるから同氏の渡滿は相當注目すべきものとされてゐる

ピリコフに 飛行場新設

連日暴動防止の監視飛行

(黑河國通)ソヴィエートがソ滿國境方面の軍備充實を必要と認め續々極東に軍隊を輸送しつゝあるは既報の如くであるが、本日當地某所に達した情報に依ると今回更に黃河沿岸、ピリコフ(ブラゴエより九十里の距離)に新に飛行場を新設し飛行機二十臺を格納して居る、尚所かるソ聯側の軍備擴張の蔭には食料さへも滿足に與へられず、牛馬の如く酷使されてる居憐れな白系露人多數あり彼等は機會あらば赤露に反抗を起さんと企圖して居るがソ聯側としても斯かる計畫あるを知り江東一帶に連日監視飛行を行つて白系露人の暴動或ひは國外脫走を警戒して居る

軍隊內は將校に對する 反抗みちく

物資欠乏で煙草も喫へぬ ソ聯機操縦士筆談

病臥中のワフラメエフ中尉は筆談で次の如く述べた
赤軍では監視が嚴重で他の部隊及び知己との往來は嚴禁されてゐる、食物は益々「粗惡」になり一日黑パン六百グラム、副食物朝肉スープ一皿、晝と晩は粥を一杯、牛豚肉は一つもなく馬鈴薯が少量で全く軍隊の食物にならぬ、給料は兵士は月額六ルーブル天引され、その外色々な名目で取られるので手に入るのはたつた四ルーブルだ煙草もろくに喫めない、將校 待遇はいくらかいゝが砂糖が一パイ十五ルーブル、牛乳一瓶八十ルーブルから百ルーブルと言ふ物價で手も出せない、軍規は單に上と下との脈絡が嚴罰で繫つてゐるだけである、其の內情を他に洩したりすれば即座に銃殺される、僕の居た軍隊で或將校が日本の帝國主義の話や赤軍の國境警備は嚴重だと兵士に訓示した時一兵士が日本の「空襲」があつたらどうすると質問した爲將校は軍規に服さない奴だと激怒しその兵士を追放處分に附し强制勞働に服さした、又昨年ハバロフスクの步兵聯隊で將校と兵士との手があつて十數名の死傷者を出しウラジオでも兵士が外出の願を出したのを許さず首謀者を營倉に入れ一同が釋放を嘆願したのを軍規に反するとて彈壓し遂に衝突してゲ、ペ、ウの銃火のため四十餘名の士が殺され二百五十名の者が拘禁されたことがある、今や軍隊內は上級者に對する反抗が充ち滿ちて何時爆發するやもわからない
私の父も理由なくして殺された、私も同樣常に壓迫を受け機會ある每に赤露からの脫出を窺つてゐた、折柄たまく試驗飛行を命ぜられたので機逸すべからずと一氣に「迫害」のソ聯を脫出滿洲國に遁入した次第です

ソ聯男女 續々歸國

軍事共産訓練を受くる爲

最近在滿ソ聯青年男女にして本國に歸國する者增加の傾向にあり、昨年六月以降の歸國者は男百六十名、女百六十九名、計三百廿九名の多數に上り去る三月卅一日も男女十七名がバイカル經由本國に歸還してゐる、右歸還者は何れもモスクワ政府の召還命令に依るものゝ如く、北鐵、ザバイカル鐵道の運賃は何れも一切免除せられて居り、之等は本國歸還後は兵役に就き、若くは共産的訓練を受けるものと觀られてゐる

ソ聯政府ポーランド外三國と 諸條約の 効力を延長

當地に達した情報によればソ聯邦政府は四月四日モスクワに於てポーランド、エストニア、ラトビア及リスアニア四ケ國間の不可侵並に紛爭平和的解決に關する條約の効力を一九四五年十二月卅一日迄延長方に關する議定書の調印を行つた

滿州里北方 八百里に亘る塹壕

(ハルビン國通)當地に達せる情報に依れば最近滿州里北方八百餘里に亘り建設されたソ聯側塹壕は既に壕內にはタンク飛行機等を始め軍用品は完備され、地中深く表面からは完全に隱蔽され耕地は耕地荒野は荒野その儘になつてゐるので絕對に外部より發見出來ぬ頗る精巧なものであると

滿洲帝國の躍進(上)

外交部宣化司長 川崎寅雄

滿洲事變勃發して茲に足掛け四ケ年滿二ケ年半に垂々とする其間世界政局の動きは相當目まぐるしいものがあつたが同時に國際情勢の變化も亦餘りに慌しいものであつた、此間に處して新興滿洲國は默々として大地に巨步を運んだのである
我滿洲國の誕生は偶然の出來事ではなく、根底深い因果率によるものと信ず、即ち十八九世紀中歐米列强の採用せる領土侵略を目的とする政治哲學若くは自國資本主義の製產品の捌口たる海外市場の爭奪を事とした經濟戰と金融資本戰との結果が政治的將又經濟的に極東を絕へず脅かしたのである、其大詰が日支の衝突を招來し其結果の一現象が滿洲國の出現となつたのである是は大きな世界歷史の苦鬪としての一波動に過ぎないのであつて日本のみが單に能動的に又は主動的に動いた結果ではないのである、滿洲國誕生既に滿二ケ年となり國內に於ては仁德高き康德建國第二周皇帝御即位の大典が營まれ茲にも輝ある大滿洲帝國の歷史の第一頁の展幕されるに至つたのである
二月二十日國務院新京國務院會議室に於て鄭國務總理は帝制實施に關する聲明を發表され斯くて滿洲國の國礎の益定まる事を中外に表明されたのである、其の全文は左の通りである

聲明書

建國第三年の新春を迎ふるに當り、國運の伸展益顯著なるを睹るは欣幸とする所なり
內治安の維持就り、外善隣日本帝國との親交益厚きを加へ文運廣く興隆して敎化の普及其緖に就き、財政の基礎確立して人民の負擔輕減し、產業指導の績日に揚りて利用厚生の途月に拓け更に昨秋未曾有の豐作を收むるや之が指導對策宜しきを得て百姓其堵に安んじて王道樂土の實現を謳歌せるは、惟れ洵に天佑と謂はざるべからず、此の天佑は我が滿洲國の建國が天命に遵由せると共に、入りて建國の大任に當られて以來二星霜、夙夜御心を國政に致されたる執政の乾德に因る
順天安民は建國の理想なり今や天佑の加護顯著にして王道を頌唱謳歌せる人民は至情を盡して、執政の天命に順ひて帝位に即かれんことを請願して已まず
是に於て政府は、執政の順天安民の大旨に依りて帝位に即かるることの方に天意に則る所以にして、國運發展の歸結なることを體認し衷を上つて全國官民の至情を執政に捧ぐると共に、欣然帝制實施の準備に着手せることを茲に聲明す
今次帝制實施は我が滿洲國々運發展の歸結にして建國の理想と使命とを更に充足高揚し國礎を益鞏固ならしめ、以て東洋平和を永遠に保持する所以に外ならず之を誤りて淸朝の復辟と爲すが如きは建國の理想と使命とに忠なる政府の斷じて取らざる所なることを聲明に當りて附言す
大同三年一月二十日　國務總理　鄭孝胥

滿洲國辭令

郵政管理局事務官 田中 勘吾
敍薦任六等、奉天郵政管理局勤務を命ず
財政部事務官 廣瀨 五郎
國務院總務廳事務官兼務を命ず(薦任八等)

計處勤務を命ず 通遼縣參事官 重岡 材輔
轉任向城縣參事官(薦任八等) 向城縣參事官 高岡 重利
休職を命ず(各通) 奈良 均 原 乙五郎 勝俣 榮逸
任哈爾賓特別市政公署屬官(委任二等)同市公署總務處勤務を命ず(各通) 樋口象太郎 齋藤吉太郎
任哈爾賓特別市政公署屬官(委任一等)同市公署總務處勤務を命ず 星野律三郎 野村 二三 龜田 浦吉
任哈爾賓特別市公署技士(委任一等)同公署工務處勤務を命ず(各通) (川上鎮一)
任哈爾賓特別市公署技士(委任三等)同公署工務處勤務を命ず 村谷 正壽
任哈爾賓特別市公署屬官(委任一等)同公署工務處勤務を命ず 富永 義雄
任哈爾賓特別市公署屬官(委任二等)同署工務處勤務を命ず 山崎 清
任哈爾賓特別市公署屬官(委任三等)同公署財務處勤務を命ず 野垣 榮 丸田 登
任哈爾賓特別市公署技士(委任二等)同公署行政處勤務を命ず(各通) 小野 五郎 宮 竹勝
任新京特別市公署屬官(委任二等)同公署行政處勤務を命ず(各通) 吉田敬次郎 金子 龍次 林 忠雄 鞭木 吉郎 河邊洋五郎 宮下美佐雄 小川 利明 織田 卯平 村上 滕井 松本 茂雄
任特殊警察隊巡官(委任三等)各通 貝田喜八郎 石井増五郎 坂本丑三郎 池尾身之吉 樋渡伊佐衛門 佐藤 兵七 大川 久作 落合 仁助 黑田 武重 盛岡牛三郎
任特殊警察隊警佐(委任一等)各通

天氣と氣温
十二日の氣溫 最高五度八 最低零下二度九、十三日の天氣 西の風晴一時曇

「金はこれだ」と鉋を拋り出す
最近質の惡い人が殖へた 石炭屋さん泣かさる

氣溫が氷點下三十度のところを上下しつゝある頃は、三度の食事の一度くらひ拔くのは耐へられても採煖に焚く石炭ばかりは無くては過せず

「米と」同價値に置かれたものだが近頃のやうにポカ〳〵あたゝかくなつて來るとやゝともすれば石炭が邪魔物扱ひにされてゐる、何しろ躍進的の人口增加に伴ひ石炭の消費量もまたすばらしい激增で既報の通り昨年四月から本年三月末迄に二十八萬三千二百七十八噸二百五十四萬九千五百二圓、前年同期より七萬六千八百三十噸八十八萬七千五百四十大圓增といふ數字を示しこれを取扱ふ松茂洋行、加藤洋行、文昌煤局、裕新公司、仁和洋行、泰山行、新泰洋行等の販賣店が一日千臺以上馬車を驅使して配達に追はれ、傍から數字的に見ると廿八萬三千二百七十八噸を扱へば噸一圓の

「口錢」とすると二萬八千余圓も儲かることゝなるが當業者に聞いてみると卻々そんな甘い譯にはゆかぬさうだ第一現金引替へといふことになつてゐるが、猾いのに逢ふと巧みにひつかけられ、組合の各店とも相當巨額の懸けになつて居り、回收に頭を痛めてゐる、長春時代から居る人々にはそんな事は殆ど絕對と云へるほど回收不能などは無いが新京の人々にはずいぶん惡辣なのがあり、金は明日來い明後日に來いと云ふなり次第に足を運んで居ると遂には云ひ譯に窮してか、金が金ならこれだ持つて行けと鉋を拋り出した大工があつた

「金は」伸べ金である これをと刀を拔いて嚇した舊幕時代の惡浪人の厭がらせ同樣な事が昭和の御世にあるのには呆るゝ

全滿孔子廟の修復保存

滿洲國政府は建國以來春秋二季の孔子祭を復活し國民の孔子尊崇の觀念促進に努めつゝあるが、久しきに亘る舊軍閥の壓政の下に各地の文廟(孔子廟)は大半は荒廢に歸し居る現狀を遺憾として居つたが主管文敎部に於ては尊孔思想の提唱、歷史的建築物の保存東洋藝術の價値發揚等の目的から文廟の修復並に保存の根本辦法を講ずる事となり、五日附を以て奉、吉、黑、熱各省長、北滿特別區長、新京特別市長等に對し管下各文廟の現狀並に修復すべきものは修復工事の詳細なる見積りを五月十日迄に報告すべく訓令を發した

純益をあげて函館市へ義捐 猫八等の演藝大會

先に三笠町演藝館で開演例によつて問答の猫八、啼分けの猫八、萬歲の夢丸、若菜等の絕妙な演技で大好評を博した一行は新京を打上げ四平街公主嶺等を巡演中だが、其筋の諒解の下に再び演藝館に戾り十四日から四日興行その揚り高中から諸費用を差引き殘金は擧げて函館大火罹災者義捐として本社を通じて送金することに決定した猫八等はお馴染み甲斐に自分達の微意を汲んで賑々しく來場函館への義金の額の多くなるやう御援助を願ひ度いと希望して居る、因に入場料は前同樣、大人一圓軍人學生半額、小人二十錢である

植樹節の記念行事

滿洲國では造林によつて颶風洪水などの災害を防ぎ一方民間經濟を緩和するために四月二十一日を植樹節として造林思想の涵養に努めてゐるが、來る二十一日の植樹節には學校および社會敎育機關を通じて左記行事を行ふ事となつた

植樹に關する訓話▲學校內に苗圃を設置すること▲學校境內および周圍に適當な實地あるときは植樹をなすこと▲當日は一般部落民を集めて植樹に關する講演を行ふこと

ルーマニア前陸軍大尉作曲 滿洲國皇帝戴冠式樂譜

ルーマニア駐在公使藤田榮介氏より本日大使館宛「戴冠式序曲」と題する樂譜が屆けられたが、右はルーマニア前陸軍大尉アレキサンドル、パルダシラ氏が滿洲國 皇帝の即位を祝して作曲獻上したもので大使館では之を直ちに外交部に回附した

大谷熱河健兒團渡日

大谷熱河健兒團では近く京都大谷本山に於て執行される得度式に代表を出席せしむべく去る九日同團代表登坂溪雲氏引率の下に大谷熱河少年赤十字團長品田孫志、同健兒團員呉振鐸、同赤十字團傳達芳、同呉進芝、同尹桂枝の諸君が既に渡日の途に就いたが、右訪日團員は得度式に參列後同樣京都に於て開かれる國際健兒團代表會議に出席し、引續き大阪、東京、名古屋、新潟、富山、金澤、神戸等の各地で少年團、健兒團との親睦を行ひ日滿少年の親睦を圖つた上五月四日頃承德に歸着の豫定である

東洋の一大男 金富貴君

本社を訪れた身長七尺八寸、體重卅八貫、跡の長さ一尺二寸と云ふ朝鮮生れの東洋一の大男金富貴君

佛前結婚

市內吉野町二丁目東亞樂房主仲田三郎氏弟三雄(二九)氏は助崎仙英氏の媒酌により富山縣出身の石黒和子(二〇)さと十二日午後四時祝町西本願寺の佛前で光岡慈昭師の司式で佛前結婚式を擧げた

精神作興大會出席の兩校長かへる
感激の幾シーンかを語る

去る三日東京における全國小學校敎育國民精神作興大會に列席のため東上、聖上陛下の御親閱の榮に浴した上原室町小學校長、大隈公學校長の兩氏は十一日午後七時三十分着はとで歸京した、驛頭には兩校の敎職員兒童三百餘名が迎へに出て、時ならぬ混雜を極めた、列車から降りた兩校長は感激にみちみちて握手、目禮の總攻擊を受け出迎の記者に對して兩氏はまづ

やあ有難ふ、長らくおるすしてお世話さまでした、今度の東京行ではお土産が盛り澤山です、まあゆつくりお傳へしませう、父兄には御紙を通じて無事歸校をお傳へ下さい

といつて一旦常盤町の自宅に二旬に亘る旅裝をといて團欒にくつろいでゐる上原校長の家に押しかけた記者に次のやうな土産話

關東廳關係十名、滿鐵關係八名のうちに交つて滿洲を代表して小學敎育國民精神作興大會の席に列するを得たことは私の最も光榮とするところでした

最も光榮

更に畏くも四月三日神武天皇祭の佳節にあたり 聖上陛下の御親閱を忝ふしたことは恐懼おくところを知らず、瑞雲になびく大內山の御前で御親閱をうけた時は何とも申されぬ、たゞ有難いといふ感じだけです、最も有難く感じたのは御勅語を戴いたことでした、吾々赤子をお預りしてその敎職にある者として痛感したことはこの大御心にそひ奉るやう日夜これ努めなければいかんと强く胸にひびいたことです確に日本は神の國です」陛下ご自身が神そのものです、建國の精神、大理想をもつて 陛下の赤子

第二の國民の頭によく染込むのが自分たちに與へられた天職だと思ひます、自分が

尊い天職

にあることがよく判りました公明正大に建國の大精神に基いて大御心にそひ奉るやう只管努めたいと思ひます、この氣持は單なる一時的の感激ではありません、御勅語の最後に「奮勵努力セヨ」との御言葉があるこへた時、本當に自分たちの重大なる使命を感じて全身冷水をあびた樣な氣になりました

なほ上原校長はかへりに橿原神宮畝傍御陵に參詣し、南朝六百年前を偲んで吉野山にも登つて來たと

坊つちやんのお節句も近づいた
さて今年のお値段は

竿上高く晴れ渡つた五月の大空に向つてから〳〵と鳴る矢車の心よい響につれ悠々と泳ぐ鯉幟や、色あでやかな武者繪の大幟に、異國の空に時ならぬ日本情緒を織りなすであらうお節句も旬日に迫つてきた可愛い坊ちやん方の行末までも幸多かれと祈るこのお節句の贈りものに對して本年度標準價格を一流商店について調査して見ると

○

鯉幟で總賀金巾一間もの七十五錢から半間につき二圓位の差で十四圓まで風の强烈な滿洲では紙製の鯉は使用に堪えぬらしく何處の店にも準備がなさそうである、土地柄にふさわしい日滿親善と銘うつた吹流しが二月五十錢から八圓ぐらいまで、武者繪の幟は染込み大巾物五圓から十二圓まで予供に愛玩され又室內裝飾としてもふさわしい一九三四年型の五月人形及內幟一組二十一圓から百七十圓まで日本の子供にとつて一番親しみのあるまたいつまでも記憶に殘るであらう金太郎や桃太郎の武者人形は一圓から三圓まで武者人形で三圓から八圓まで、こう日ならずしてこれ等の品物も出揃ひショウキンドから坊ちやんへ挨拶するでせう

○

「一昨年より昨年昨年より今年とともに多くはけてゆきます、今年なぞは人口もずつとふえていることですから相當の賣れ行きを示すでせうこちらもそれを見越してうんと仕入れてお客樣を待つてゐますよ」と某小間物店は大馬力—

市營住宅料値下にきまる
民政部から市政公署にお達し だが、金額は未定

新京特別市政公署では住宅の緩和と一般家賃の公平をはかるため、昨年民政部前に市營住宅百二十四戸を建て更に本年も首都警察西側の

「空地」に百五十戸の市營住宅を建築することゝなつてゐるが、滿人の借家人である金時中外十二名はさきに市營住宅租借料が一般の住宅に比べて高いから値下けをするやう市政公署に命ぜられたいと民政部に連名で陳情したので民政部でも調査の結果現在の租借料は他に比較して割合に高く このまゝでは折角の市營住宅設置もその趣旨に反するから値下けを行ふやうこの程市政公署に通牒、市政公署では借欵條件および物價昂騰などの關係でこれ以上に値下けすることは市の財政上苦痛であるも種々考慮の結果、民政部の命に從ひ

「幾分」値下けを斷行することゝなつたが引下租借料は未定である

滿洲帝國書畫展覽會 民政部出品斡旋

東京遊就館長松田少將から丁駐日公使に對し四月二十日から五月五日まで開催される滿洲帝國書畫展覽會に滿洲國朝野名士の書畫作品の出品斡旋方要請する處あつたが、これが移牒を受けた民政部では滿洲國の文化紹揚並に友邦の誠意に酬ふ意味に於て四日附公文を以て奉、吉、黑、熱各省公署新京、ハルビン特別市公署、首都ハルビン各警察廳、北滿特別區公署等各機關に飭し速に廣く出品を集蒐すべく訓令した

競馬ガラの代賣人決定 松尾商店が取次店

三月の中旬に發賣を開始するはずであつた壽搖彩票は代賣人の撰定その他の準備で今日まで延引してゐたが馬政局ではいよ〳〵第一回の代賣人の指定を終つたので一兩日中に市中で發賣されることゝなつた新京の指定代賣人は東三馬路東玉公司王振鐸氏で附屬地の大取次人は日本橋通りの松尾商店尚代賣人指定申請書は目下續々提出されてゐるが馬政局ではこれら申請者のうちから各種の事情を考慮して詮衡し第二、第三回と指定することゝなつてゐるから希望者は至急申請されたいと

密輸警戒犬にシェパアードを利用
滿洲國財政部の新案

時代の寵兒シェパアードは滿洲に於ては軍用犬、警察犬、鐵道警戒犬に使用され相當の成績を擧げ益々その必要と實用化が叫ばれて居るが財政部に於ては歐米各國が之が密輸警戒犬に利用し成績を擧げて居るに鑑み來年度豫算をもつて優秀なシェパアードを買上げ警戒犬として訓練を施し國境各地の稅關並に事實各署地方辦事處に配屬することになつた、北滿方面を舞台とする密輸入者には滿鮮露人等あり中には銃器を所持して官憲に抵抗する者あり我當局は之が取締に難澁して居たが同犬の配屬によつて稅關吏は從來の危險より免れるばかりでなく取締の上に充分なる成績を擧げ得る樣になると期待されて居る

春、街頭ナンセンス

お腹が空いたか
自動車、天プラ屋へ きのふ晝間日本橋通の椿事

十二日午前十一時頃南廣場方面より日本橋通りを城內の方向に向つて運轉手台に人影もない無人の自動車一台進行して來た道行く人々は奇異の目をみはり或は科學界において話題の種をまいている問題の無電自動車ではないかとその進行にみとれていた、だがその足どりの危險千萬なこと試驗としては車馬織りなすこの街上では余りに冒險である俄然該自動車の足どりは亂れた急に方向變換飲食店江戶吉の入口めがけて突入してしまつたたゞならぬもの音に驚いた家の人々がとび出して見るとのえらいお客、ドアーはめちや〳〵「へエー晝前ですかね自動車の奴さん腹が減つたんでせう、家の天ぷらがとてもうまいですからへエーとてつもないお客御へ來で大枚七圓五十錢の泣き別れさアー」晝過ぎの街のナンセンス、因に該自動車は日滿タクシー所有のもので運轉手の不注意から、エンジンをかけたまゝ停車していたところ齒止めにゆるみがきて自ら滑出したのだと、だが幸に人畜に異狀なし

匪首公平の共犯 格闘の末逮捕

夕刊所報新京署井上輔成兩刑事に逮捕された匪首公平こと曹漢周(四二)の自白により共犯者孟憲春(三二)が鐵道北春日町の滿人宅に潜伏してゐるを突きとめ一隊は十二日午後一時同家を襲ひ犯人を逮捕しモーゼル拳銃一挺並實彈二十發を押收し一先づ本署に引揚げ更に一味王俊芳(四〇)の隱家である春日町六丁目六番地を襲つたところ賊は直に隱家を飛出し、小型拳銃で發砲したので刑事隊もこれに應戰し賊の油斷を見るがはやいか井上刑事は勇敢に賊にくみつき格闘の末逮捕し小型拳銃を押收し悠々引揚げた

塚本院長今夕鳩で歸京

日本醫學會に列席中であつた滿鐵新京醫院々長塚本良禎博士は十三日午後七時三十分着はとで歸京の豫定

兒玉事件判決

(大連國通)有閑婦人の戀愛遊戲が生んだ情痴犯罪として全國を驚かした兒玉博士邸事件も愈よ總決算をつけることとなり中園秀雄(三六)藤森勝美(二九)の兩被告に對する判決は十二日午前十時大連地方法院に於て川畑裁判長より左の如く言渡された

△懲役二十年(求刑死刑) 原籍 鹿兒島縣薩摩郡下甑村 住所 大連連鎖街吉野アパート 中園秀雄(三六)

△懲役八ヶ月(求刑一年) 原籍 長野縣小縣郡和村白十四 住所 大連市聖德街一ノ三丘 兒玉こと藤森勝美(二九)

山本氏の觀測 體協の態度と一致
深更まで對策を協議す

(東京國通)體協緊急臨時會は氏の態度決定後更に山本代表よりの入電を十二日午前零時半を過ぐるまで待つて入手した、同氏の觀測も體協側の執つた態度と全く一致して居るので專務理事及び重要役員は更に對策に就き協議を續行し、十二日午前二時を過ぎて漸く解散した

源順號上海沖 沈沒 四十余名生死不明

(營口國通)當地大通公司(本店上海)所有船源順號(一八六大一噸)は去る一日營口出港上海に向ふ途中七日上海沖七十浬鷄骨礁附近に於て積荷過多のため沈沒、乘組員、甲板客七十余名中卅名は救助されたが四十余名は生死不明の旨通報があつた、損害約廿三萬圓の見込

兩校長歡迎會

新京敎育會聯合會では十一日歸京した上原、大隈兩校長の歡迎會を十二日午後三時から室町小學校禮堂で開き席上兩校長から東上經過を報告した

興安總署招宴

滿洲國興安總署では十一日午後六時卅分より料亭八千代に在新京新聞通信記者其他情報關係方面の關係有志を多數招待して盛大なる宴を催し紅連の特サービスに醉ひながら忌憚なき意見の交換をなし午後九時盛會裡に散會した

居住消息

▲大草實氏(山口縣)祝町十二番地へ
▲安中百夫氏(長崎縣)奉天から八島通り三十二番地へ
▲細川一郎氏(愛媛縣)奉天から東二條通五十八番地へ

轉居

▲石見榮作氏平安町二丁目一ノ五から吉野町五丁目四番地へ
▲田中晉人氏曙町一丁目二番地から蓬萊町一丁目十番地へ

寄附

前國際運輸新京支店長藤沼泰一氏は今回大連に轉勤したが子弟の在學記念として金二十圓を室町小學校に寄附した

ラヂオ

十三日(金曜)新京

午前 一一時四〇分 ニュース(日滿兩語)
同 一一時五九分 時報
午後 〇時五分 經濟市況(奉天より日滿兩語)
同 一時 〇分 演藝(滿語)
同 三時二〇分 ニュース(日滿兩語)
同 三時三〇分 經濟市況(奉天より日滿兩語)
同 五時 〇分 子供の時間 お話(仙臺より) 高野創
同 五時二〇分 ドモの療法(東京より)
同 五時三〇分 ニュース(英語)
同 五時四〇分 ニュース(鮮語)
同 五時五〇分 ニュース(滿語)
同 六時 〇分 ニュース(東京より)
同 六時二〇分 語學講座(滿語)講師 高宮成逸
同 六時四〇分 語學講座(日語)講師 植松金枝
同 七時 〇分 謡曲
同 七時四〇分(東京より)
同 七時五〇分(東京より) 連續浪花節
同 八時三〇分 時報(東京より)
同 八時四五分 ニュース、プログラム豫告
同 九時 〇分 演藝(滿語)
引續 ニュース、氣象豫報、プログラム豫告(滿語)

懸賞 紙上圖書館

本社主催

應募規定

讀者はこの一頁の書籍廣告中より自分の愛讀せむとする書籍を往復ハガキに認め左記へ御申込み下さい、嚴正な抽籤によつて三十名へ申込書籍を進呈致します

一、一人一冊のこと
一、必ず往復ハガキに書くこと
一、締切四月廿五日

宛先　東京市芝區二本榎西町三　新京日日新聞社東京支局

東京市芝區二本榎西町三
新京日日新聞社東京支局

日本の聖女

（講上演映）

生田葵

南部龍平畫

八四

伏見街道

裏の捕物（九）

數之丞は片目の由を引連れては此方に何かたくらみありと對手に感念さるゝ恐れがあると思ひ、ひとりで門を外へと出て行つた。

その邊をみまはしても、伏見街道の方へと出らるゝ小みちの上には人影はなかつた。

由が見つけたと云つた右側の家の前へ行き、それから裏手へ廻つたが、其處にも姿がなかつた。

「其奴早くも風を喰つて、逃去つて行きをつたか」

舌打して殘念に思つたが、念の爲めとその家の裏をずつと奥の方まで進んで行つた。

すると其處に牛小屋があつて、その戸がしまつて居た。

もしやと思つて、その戸を押し開くと、案の條内部にのつそりと乞食姿の男が突つ立つて居た。

「こら、前へ出ろ」

數之丞は大喝一聲した。

多分數之丞が門から出た姿を遠目に見て早速に此處へと身を隱したものらしい。

乞食姿の男は觀念したと見え、小屋から外へ出たが、隙を見てにげ出さうとする心持ちが樣子にあらはれて居た。

「此方へ來い」

數之丞は、機先を制してその男の右の手をとつてしまつた。

振放さうとしたがそれは大盤石であつた。

引き立てられて小みちの側まで來ると、その男は突然左の手で、隱し持つた十手を握つて、數之丞へと打つてかゝつたが苦もなくもぎとられ、今度は仔犬のやうに襟髮をとられて、家の中へと連れ込まれた。

「繩をもつて來い」

數之丞は片目の由に命じた。

由が捕繩を持出して來ると、手足共に嚴重にくゝり、序に目隱しをもして了つた。

手ばしこく立のきの準備を調へてしまつたお春は、そんなとらはれ人が其處に居るので、縁側の方へは來ずに、室の奥の方から數之丞へと聲をかけた。

「まだのこつて居る品も數々ござりまするが、今の人手ではどうにもなりませぬ。それでは私たちは之で此處を出て參ります」

「道はいつも打合せてある通りの裏山傳ひ、片目の由、其方は一緒に行つておまもり申せ」

片目の由が身體を動かさうとすると、家の裏手から庭へと這入つて來たのは、數之丞の煮炊きを世話して居る吉兵衛の乾分の又藏とやはり吉兵衛の乾分で時々吉兵衛の使ひでやつて來る幸之助といふ若者であつた。

「先刻のお迎へのお使ひが云はれたことが氣になつたので、樣子を見に參りました」

吉藏が云つた。

「いゝ處へ來た。此家は立退きぢや。みんなお守りしてお送り申せ。私も後から行く」

二人の吉兵衛の乾分はうなづいた。

さうしてもう家の裏口を出かけ出したお春や、十三人の孤兒を世話する婦女たちの方へと片目の由諸共に走つて行つた。

「やい。乞食姿の役人。役所の樣子を話せ、いつ頃此處へおし寄せて來る手筈になつて居る、云はぬと痛い目をせねばならぬぞ」

數之丞がたづねたがその手先はだまつて居た。

「云はぬな。云はねばかうしてやる。」

數之丞は足許にころがつてゐる棒きれを後手に縛つてゐる繩と背中の間に差込んで「こぢこぢとぢした。